令和 6 年度　大阪府立成美高等学校　第 3 回学校運営協議会議事録

令和 7 年 1 月 29 日

開催条件の確認

＜司会進行＞

本日ご出席を賜りました委員のみなさまは委員定数の過半数を超えていますので、「学校運営協議会の運営に関する要綱」第 14 条 2 項および、「学校運営協議会実施要項」第 10 条 2 項の規定を満たしております。よって協議会は成立することを認めます。なお、事務局員の教務主任は公務出張のため欠席させていただいております。ご了承ください。

校長挨拶

◆令和 6 年度学校評価(案)・令和 7 年度学校経営に関する基本的な方針(案)について協議願う。
◆幅広い観点から忌憚のないご意見を頂きたい。

令和 6 年度学校教育自己診断の分析(報告)

＜堂之本会長＞

それでは協議を始めたいと思います。まず「令和 6 年度学校教育自己診断の分析」について説明をお願いします。

＜事務局＞

それでは別紙 1 をご覧ください。

学校生活について

【1 年次】　中学校とは異なる高校の学校生活に徐々に順応してきたと分析
　　生徒同士をつなげる取組みを計画・実施するなどクラス活動を活性化していく必要がある
【2 年次】　生徒の問題行動・事象に対する予防・早期対応が他の生徒への影響を最小限に留めたと分析
　　選択授業が多くなりクラス単位の活動が減少することを考慮した HR 計画を立てる必要がある
【3 年次】　総合学科としての授業形態に慣れて楽しむことができるようになったと分析

【保護者】　教員と保護者が普段から密に連絡を取り合う姿勢が評価されたと分析

【教員】　担任の業務が滞らないようチームで動く体制づくりが必須

教務関係

◆教員同士が授業交流を行って自分の授業にフィードバックすることが大切
◆生徒が授業を楽しめるようになれば保護者の肯定率も増加すると考えられる
◆到達度の低い生徒への適切な指導が必要

進路指導関係

◆進路指導部主導のもと学年・担任が指導にあたることが生徒に良い影響を与えている

生徒指導関係

◆保護者の肯定率の高さに比べて生徒の肯定率が低いことから、生徒を見極め個々に応じた指導を行うことが肝要
◆引き続き慣例によらず成美高生の成長につながるようなチームとしての対応を検討していく

学校行事関係

◆学校行事については変更改善を加えたことで肯定率は上昇した
◆部活動の活性化については引き続き学校全体で取り組むべき課題
◆PTA 活動についてはより積極的に参加を呼びかける等の働きかけが必要

保健関係

◆防災訓練の実施により肯定率は高水準をキープ
◆引き続き効果的な防災訓練の内容の検討および危険予防と防止のための施設点検管理に努める

いじめ防止・教育支援関係

◆教育相談などの取組みにより肯定率は高水準をキープ
◆引き続きいじめの根絶や生徒の安全安心の確保をめざしてチームとしての教育相談体制の改善と強化に努める

人権教育関係

◆人権に基づく生徒の成長を重視した教育により生徒自身が学び成長していることを実感していると分析
◆座学的な教育法よりも実際に体験する教育法を多く取り入れることに努める

＜堂之本会長＞
ただいまの説明についてご意見・ご質問がありましたら発言をお願いします。

＜小林委員＞
チーム対応についてどう取り組んだか説明してほしい。

＜事務局長＞
教育相談体制を例に説明する。従来は教育支援委員会の委員長のもと対応してきたが、委員会組織ではどうしても委員長に業務が集中するところが課題であった。一方、生徒が気軽に相談できる部屋は保健室であることから、教育相談の機能を校務分掌の保健部に組み入れ、教育支援主担・自立支援主担に養護教諭・各学年保健部担当を加えた教育相談会議を週 1 回実施することにより、チームとしての教育相談体制を整えた。

＜淺井委員＞
実験実習の具体例と部活動の活性化が本当にできるのかお伺いする。

＜事務局＞
家庭科の調理実習・理科のペットボトルロケット製作・保育実習として地域の幼児との交流・数学科と音楽科のコラボによるピタゴラスイッチの製作および演奏　等。ただ、生徒の安全確保に課題がある。部活動の活性化については所属している部員が楽しいと感じる働きかけが必要。

＜堂之本会長＞

大阪南部の公立高校の重心の授業を見学したことがあるが生徒が理解しているかが課題なので、軽工作を取り入れるなど生徒が授業に参加する雰囲気作りが大切と思う。

＜小林委員＞

部活動の課題を教員・部員・保護者が協議を重ねる必要性があるのではないか？大阪府が部活動の活性化について指示を出すべきだか現場任せなので…

＜事務局長＞

生徒を取り巻く環境は大きく変化している。教育課程だけでなく教育課程外の部活動を併せた生徒育成が大切なことは今後も変わらないと考えるが、家庭状況をふまえた生徒の意識をないがしろにはできないので、本校においては部活動に代わる教育課程外の活動を検討し始める必要性を感じている。

＜堂之本会長＞

学校 HP を広く活用してもらうには学校ブログにアクセスしやすいような画面構成に変更する・教科指導の向上については年間行事計画に教科会議を組み込む・人権に関する文言を今風に変更するといった仕掛けが必要と思う。

令和 6 年度学校評価(案)について

＜堂之本会長＞

次に「令和 6 年度学校評価(案)」について説明をお願いします。

＜校長＞

それでは説明いたします。別紙 2 をご覧ください。

◆本年度の取組み内容および自己評価について

◇生徒向け学校教育自己診断における学校生活満足度は84.4%であった。生徒に丁寧に対応した結果であり、今後もさらに生徒一人ひとりに丁寧に言葉がけを行いたい。

◇生徒向け学校教育自己診断「先生は学習で自分が努力したことを認めてくれる」の肯定率は 90.2%で大幅に上回った。

◇生徒向け学校教育自己診断の人権に関する項目における肯定率は 89.2%であった。人権意識を常に持ち続けて教育活動を進めた結果である。

◇保護者向け学校教育自己診断の人権教育に対する肯定率 90.7%であった。学校と家庭とがしっかりと連携し対応できた。

◇多様な生徒や海外ルーツ生の増加により粘り強い指導と緊密な家庭との連携が必要だったが、遅刻回数・懲戒件数はともに減少した。引き続き粘り強い指導を継続する。

◇生徒向け学校教育自己診断の教育相談に関する項目における肯定率は 84.2%であった。教員が日頃からしっかりと生徒を把握し対応した結果である。

◇大会やコンクールの入賞数 41 件。多くの生徒の頑張りが結果につながった。

◇近隣中学校への訪問回数は達成できなかったが、初の試みとして地域の中学校の教員による本校の見学を実施した。

◇働き方改革をふまえてイベントを精選したため地域のイベント参加数も達成できなかった。

◇時間外勤務月 80 時間以上の職員数は増加した。様々な課題を抱える生徒の対応を丁寧に行ったためである

が、引き続きデジタル化といった業務の効率化・不要不急の業務の削減に努めていく。

＜堂之本会長＞

ただいまの説明についてご意見・ご質問がありましたら発言をお願いします。

年度初めに報告があった支援を必要とする生徒の状況をお伺いする。

＜事務局＞

個人情報にあたるため割愛

＜小林委員＞

働き方改革に関連してお伺いする。時間外労働は全体的に多いのか？

＜校長＞

全体的に多いわけではない。多様な生徒や海外ルーツ生の増加により粘り強い指導と緊密な家庭との連携を必要とした分、担任や生徒指導担当の負担が増加した。早急にチーム対応の体制の確立に努めたい。

＜鶴山副会長＞

多くの項目で肯定率 8 割超えは誇るべきこと。

＜堂之本会長＞

志願者数の展望をお伺いする。

＜校長＞

願書提出最終日で確定するが正直大変厳しい。

＜堂之本会長＞

他に意見はありますか？…ないようなので案のとおり承認します。

令和 7 年度学校経営に関する基本的な方針(案)について

＜堂之本会長＞

次に「令和 7 年度学校経営に関する基本的な方針(案)」について説明をお願いします。

＜校長＞

それでは説明いたします。別紙 3 をご覧ください。

◆これまでの計画書の内容を再検討のうえ同様の内容を整理統合し文書全体をスリム化した。

◆「中期的目標」の数値指標については、学校教育自己診断に記載のどの質問項目で判断するのかを明確にした。

◆「めざす学校像」については最も大切にしているところなのでぶれずにそのままで進める。

◆以下記述のとおり。

◆次年度の重点として働き方改革を推し進める。全面改訂した成美マニュアルの活用により積み重ねてきた教育資源の有効活用と継承を行い、合わせて引き続き ICT 機器の利活用により校務の効率化を進め、教職員の事務作業に係る時間の軽減に努める。

＜堂之本会長＞

ただいまの説明についてご意見・ご質問がありましたら発言をお願いします。

昨今の猛暑に対する対策をお伺いする。

＜事務局長＞

大阪府により本校の体育館にはエアコンが設置されているので、体育館を使用する活動への対応は完了している。ただ、始業式や終業式など全校生徒が体育館に集まるにはエアコンの能力が不足がちなので、暑い時期・寒い時期は各 HR 教室にてオンライン開催としている。

＜堂之本会長＞

他に意見はありますか？…ないようなので案のとおり承認します。

各学年および進路指導部からの報告について

＜堂之本会長＞

では次に「各学年および進路指導部からの報告」について事務局からお願いします。

＜学年主任(３年)＞

ただいま最後の定期考査を実施中。結果次第では今後の進路に影響するので生徒は卒業を目標に頑張っている。進路指導に関する総括になるが、自身の進路について考え始めるのが遅い生徒が一定数いたので指導に苦慮した。現在はほぼ進路が決まっている状況。

＜渡邉委員＞

やりたいことが見つからない生徒は増えているのか？

＜学年主任(３年)＞

志望する教育機関や事業所を見学することで現実のしんどさを認識しその進路を断念する傾向が強かった。また、気がのらないことはやらなくてもよい理由を探して回避するような生徒も見受けられた。

＜学年主任(2 年)＞

北海道への修学旅行を実施し無事帰阪することができた。生徒は今でも楽しい思い出として時々話題にしている。年度末を迎えたので生徒に対して進級に向けての最後の働きかけに努めている。

＜学年主任(1 年)＞

高校生活への適応をテーマに、1 年次では「やってはいけないことを理解する」・2 年次では「やるべきことを理解する」・3 年次では「やりたいことを見つける」という３年間の教育計画を立て、粘り強く指導してきた。結果、多くの生徒が高校生活に適応できたと感じている。

＜進路指導主事＞

◆就職関係

学校紹介による就職希望者 24 名。1 次・2 次をのりこえ全員内定をいただいている。

◆進学関係

進学希望の生徒が増加傾向であり中でも専門学校希望者が多いが、目的意識をもって進学する生徒は少ないと感じる。経済的な負担感が薄れてきたからではないかと推察する。

◆進路指導全般

自分の意志で何かを決定する経験が少ない生徒が増えてきた。この状況をふまえてどう進路指導を進めていくか検討する必要性を感じている。

＜堂之本会長＞

ただ今の事務局の説明についてご意見・ご質問がありましたら発言をお願いします。

保健委員会からの報告

＜堂之本会長＞

では次に「保健委員会からの報告」について事務局からお願いします。

＜事務局長＞

それでは簡潔に報告いたします。別紙 4 をご覧ください。

1/17(金)に 学校薬剤師 の 西郷さなえ さまを講師にお招きして、教員・学校三師・生徒保健委員・PTA 役員で構成される学校保健委員会を開催。

西郷さまから「薬の正しい使い方」と題してご講演いただき、「人間の持つ自然治癒力」「自然治癒力の助けになるのが薬」「薬の用法・用量を守ることの大切さ」「薬の副作用」について理解を深めた。

続けて、本校の養護教諭から「保健室利用の状況」「健康診断」「環境衛生検査」について報告。後日その内容を生徒保健委員が「学校保健委員会だより」としてまとめ全校生徒に周知。

＜堂之本会長＞

ただ今の事務局の説明についてご意見・ご質問がありましたら発言をお願いします。

第 3 回のまとめ

＜堂之本会長＞

いただいている議題については以上ですが、他に協議しておきたいテーマをお持ちの方はいらっしゃいますか？

ないようですのでこれにて協議を終了いたします。進行を事務局にお返しいたします。

校長お礼

＜司会進行＞

では最後に校長から協議会に対するお礼を述べさせていただきます。

＜校長＞

本校の生徒育成に関する体制づくりは良い方向に向かっていると感じているが、本校を志望する生徒が減少傾向であること・海外ルーツ生が増加傾向であることから、今後も困難な学校運営が見込まれる。引き続き多様な生徒を育てることを使命として暖かな春を迎えられるよう努める所存。本日はご多用の中ありがとうございました

＜司会進行＞

以上をもちまして 令和 6 年度 第 3 回 学校運営協議会 を終了いたします。ありがとうございました。